

関係各位

2022年10月期第2四半期 連結決算の概要

2022年6月9日
株式会社トップカルチャー

(1) 総括

当社グループの2022年10月期第2四半期連結決算（2021年11月1日～2022年4月30日）は、以下の通りです。

- ・売上高*は、113億87百万円（前年同四半期 145億93百万円）
- ・営業利益は、55百万円（前年同四半期 2億4百万円）
- ・経常利益は、53百万円（前年同四半期 2億3百万円）
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は、19百万円（前年同四半期 1億57百万円）

* 当年より「収益認識に関する会計基準」を適用したことにより、前年売上高との比較ができないため、前年比は記載しておりません。

(2) 連結業績の要素別分析

売上高

大手メーカーとのコラボ企画販売や地域特産品の販売等は好調でしたが、一方で新型コロナウイルス感染拡大防止のための時短営業を継続している中、本年1月からのオミクロン株の感染拡大に伴う「まん延防止等重点措置」が、当社店舗所在の大半のエリアで適用されたことにより、当初計画していた売上高を下回る結果となりました。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

中期経営計画に掲げております粗利益の改善や運営コストの低減に成功した一方で、前連結会計年度中より上昇していた原油価格に起因した光熱費上昇が、当連結会計年度に入り世界的なエネルギー価格の急激な高騰により、想定を超える光熱費の上昇によるコスト増となりました。その結果、販管費の削減が限定的なものとなり、売上高の減収に加え、光熱費等のコストアップにより利益が大きく押し下げられました。

(3) 2022年10月期の通期業績予想

第3四半期以降につきましても中期経営計画に掲げました方針に従い、売り場構成の見直しを進め、第4四半期においては新規出店を行うことで売上高の最大化を実現してまいります。併せて、親和性を高める商品・リーシング展開を強化するとともに、粗利益の改善と運営力の強化によるコストダウンを実現し、利益の最大化にも努めてまいります。

詳細につきましては、2022年6月7日に開示いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご確認ください。

以上

本文書に関するお問い合わせ先： 株式会社トップカルチャー 取締役財務部長CFO 吉田 勝一
〒950-2022 新潟市西区小針4-9-1 電話:025-232-0008